

エコアクション21 環境活動レポート

2015年度

【2015年度活動期間：2015年3月～2016年2月】

株式会社 ジクヤ精工



発行日：2016年4月11日

目次

1. 会社概要2
---------	--------

2. 環境方針4
---------	--------

3. 体制組織図5
----------	--------

4. 環境目標6
---------	--------

5. 環境活動計画と実績および評価7
-------------------	--------

6. 3カ年環境目標8
------------	--------

7. 取組事例紹介11
-----------	---------

8. 次年度の取組内容12
-------------	---------

9. 環境関連法規制等のまとめ13
-----------------	---------

10. 代表者による全体評価と見直し14
--------------------	---------

1. 会社概要

(1) 名称及び代表者名

会社名 : 株式会社ジクヤ精工
代表者名 : 軸屋 敏宏

(2) 所在地

本社工場 : 鹿児島県薩摩郡さつま町柏原4965-25
ホームページ : <http://www.jikuya.jp/>

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 軸屋 大輔 TEL: 0996-59-8849
環境事務局 : 高橋 祐太 濱崎 輝 同上

(4) 事業内容

自動車関連部品、電子関連部品、および治工具の製造

(5) 沿革

平成元年4月	ジクヤ精工創立
平成 3年5月	有限会社ジクヤ精工に変更
平成10年7月	新工場へ移転
平成18年	株式会社ジクヤ精工に組織変更
平成24年5月	新工場増築

(6) 事業の規模

従業員数
14 人
売上高
127 百万円
床面積
542 m²



(7) 認証・登録の対象組織・活動

登録事業者 : 株式会社 ジクヤ精工

対象事業所 : 本社工場

活動 : 自動車関連部品、電子関連部品、および治工具の製造

(8) 主要設備

機 械 名	保有台数	機 械 名	保有台数
マシニングセンター	4	CADシステム	3
NCフライス盤	4	複合旋盤	1
汎用フライス盤	2	NC旋盤	2
高速スピンドル	1	汎用旋盤	2
NCインデックス	1	ワイヤー放電	1
平面研削盤	2	放電加工機	1
横型タッピングボール盤	1	ダイカットマスター	1
パフグラインダー	1	円筒研削盤	1
エンドミル再研磨機	1		



マシニングセンター



複合旋盤



ダイカットマスター



パフグラインダー



円筒研削盤(外径・内径)



エンドミル再研磨機

2. 環境方針

株式会社 シクヤ精工

環境方針

<環境基本理念>

(株)シクヤ精工は鹿児島県さつま町を流れる川内川に面した恵まれた地域環境のなか、精密機械器具製造業としての事業活動を進める上において、環境配慮製品の未来に向けたニーズに対する加工技術の充実を目指します。また諸々の環境問題に配慮した環境保全と資源の有効利用の推進を図り、環境課題に対して積極的に取り組みます。

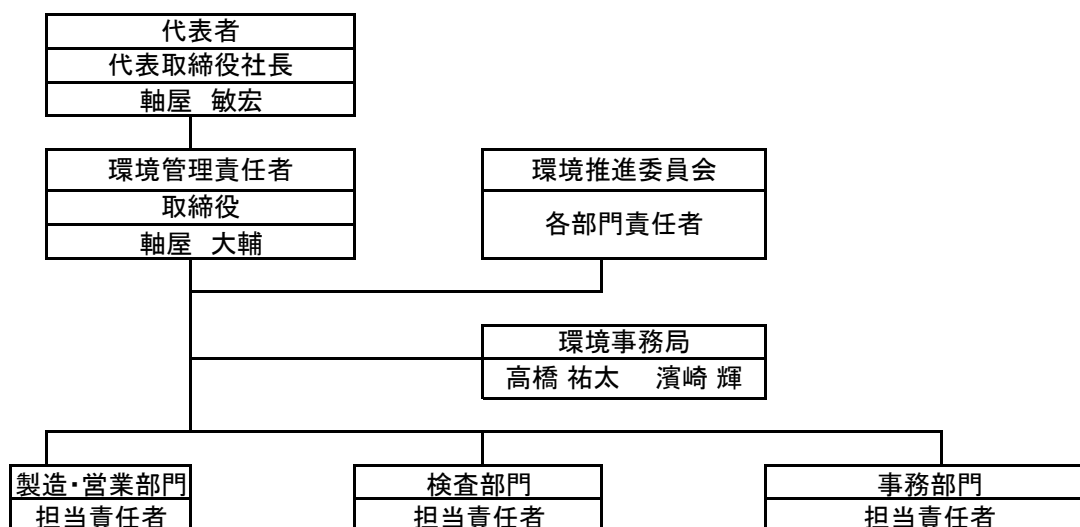
<環境行動指針>

1. 弊社の事業活動に於いて、下記の環境課題について重点的に取組みを推進します
 - ①地球温暖化防止のため、省エネに取組み二酸化炭素排出量の削減を図ります
 - ②資源の有効利用のため、原材料や廃棄物の削減及び有効利用に努めます
 - ③水資源の節約、及び再利用を図ります
 - ④化学物質の管理の徹底に努めます
 - ⑤グリーン調達を推進します
 - ⑥弊社の製品製造、販売に対して技術力や良品化への向上を目指し、環境に配慮した「もの作り」で資源、及びエネルギー使用量削減に努めます
 - ⑦地域社会に貢献できる経営を目指します
2. 環境保全に関連する環境法規制やその他の環境関連要求事項など、当社に
関係する関連事項を順守する事を約束します
3. この環境方針達成のため、全社員へ方針を周知し、必要に応じて外部へも
公表します

制定日：2013年8月1日

代表取締役社長： 軸屋 敏宏

3. 体制組織図



組織	役割・責任・権限
代表者 (社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果や環境推進委員会の取りまとめを代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、環境推進委員会の事務局で取りまとめを作成し、環境管理責任者に報告 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく順守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
各部門	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 2015年度環境目標と実績

2015年度は、3カ年計画の最終年度になります。2016年度からは、新3カ年目標・計画で取り組みます。

	2012年度実績 (基準年度)	単 位	2014年度	2015年度	
			実 績	目 標	実 績
電力の削減	129,682 kWh 75,734 kg-CO ₂ ※1	増減率 %	△2.9%	△6%	△2.9%
		kWh kg-CO ₂	125,876 73,512	121,900 71,190	125,852 73,498
自動車燃料の 削減 (ガソリン)	3,227 ℓ 7,487 kg-CO ₂ ※2	増減率 %	△16.3%	△3%	△14.1%
		ℓ kg-CO ₂	2,702 6,269	3,130 7,262	2,773 6,433
一般廃棄物の 削減	データなし	削減率 %	—	△2%	+3.2%
		kg	調査結果 535 kg	524	552
産業廃棄物の 削減	リサイクル率100% * 2012年度に金属屑100%有価物 * 2013年度に廃油100%有価物	リサイクル率 %	100	100	100
水道水の削減	115 m ³	増減率 %	△5.2%	△3%	+3.5%
		m ³	109	112	119
化学物質の 管理徹底	2014年度より実施 チェックシートにて定期点検を実施	回/年	12	12	12
グリーン調達	2014年度は調査 2015年度より実施 グリーン調達数/購入品数 80%	%	82	84	86
良品率・納期厳 守率の向上	良品率・納期厳守率100%	%	100	97	100
地域清掃の 実施	2回/年間	回/年	2	2	2

※1: 電力の二酸化炭素排出係数: 九州電力 平成26年度実排出係数0.584 kg-CO₂/kWhで遡って算出

※2: ガソリンの二酸化炭素排出係数: 2.32 kg-CO₂/ℓで算出

5. 2015年度環境活動計画と実績評価

1. 2015年度環境活動計画と実績(2015年3月～2016年2月)

2015年度増減目標値	取組内容	増減実績値	評価
電力の削減 2012年度対比△6%	<ul style="list-style-type: none"> 室温の適正化(冷房28℃、暖房20℃) 照明のLED化 夏季の給湯器の停止 空気圧縮機の自動断続運転の徹底 	△2.9%	△
自動車燃料の削減 2012年度対比△3%	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブの推奨 効率的なルートで配送 低燃費車の導入検討 	△14.1%	○
一般廃棄物の削減 2014年度対比△2%	<ul style="list-style-type: none"> ミスコピーの防止 段ボール・雑誌の有価物化 梱包材の再利用 	+3.2%	△
産業廃棄物の削減 リサイクル率 97%	<ul style="list-style-type: none"> 脱油の徹底 雨水の混入防止 廃油の有価物化 資材購入のムダ撤廃 切削工具の再研磨 端材の再利用 	100% +3.0%	○
水道水の削減 2012年度対比△3%	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な節水 水量、水圧の調整 ステッカー、ポスターの掲示 	+3.5%	△
取扱化学物質の管理徹底 化学物質の取扱い、保管状態定期点検 1回/月	<ul style="list-style-type: none"> オイル保管場所の設置により、オイル保管量の見える化 管理基準を作成し、保管場所・保管量の周知徹底 自己チェックシートにて月に1度の定期点検を実施 新規導入品のSDS確認 	12回/年 100%	○
事務用品のグリーン購入 グリーン購入率80%	<ul style="list-style-type: none"> グリーン製品購入率調査 事務用品購入のグリーン製品へ切替 	86% +6%	○
良品率・納期厳守率の向上 良品率・納期厳守達成率 97%	<ul style="list-style-type: none"> 顧客への良品率達成率 顧客への納期順守達成率 	100% +3.0%	○
地域清掃の実施 清掃活動2回/年間	<ul style="list-style-type: none"> 地域の草払い 地域道路の空き缶拾い 	2回/年間 100%	○

評価○:目標達成 △:目標未達(10%以内) ×:目標未達(10%以上)

6. 新3カ年環境目標 (2016～2018年度)

	2015年度実績 (基準年度)	単 位	2016年度	2017年度	2018年度
			目 標	目 標	目 標
電力の削減	125,852 kWh 73,498 kg-CO ₂ ※1	増減率 %	△1%	△2%	△3%
		kWh kg-CO ₂	124,593 72,762	123,335 72,028	122,076 71,292
自動車燃料の削減 (ガソリン)	2,773 ℓ 6,433 kg-CO ₂ ※2	増減率 %	△1%	△2%	△3%
		ℓ kg-CO ₂	2,745 6,368	2,718 6,306	2,690 6,241
一般廃棄物の削減	552 kg	削減率 %	△1%	△2%	△3%
		kg	546	541	535
産業廃棄物の削減	リサイクル率100% * 2012年度に金属屑100%有価物 * 2013年度に廃油100%有価物	リサイクル率 %	100	100	100
水道水の削減	119 m ³	増減率 %	△1%	△2%	△3%
		m ³	118	117	115
化学物質の管理徹底	2014年度より実施 チェックシートにて定期点検を実施	回/年	12	12	12
グリーン調達	グリーン調達数/購入品数 86%	%	86	86	86
良品率・納期厳守率の向上	良品率・納期厳守率 97%	%	97	97	97
地域清掃の実施	2回/年間	回/年	2	2	2

※1: 電力の二酸化炭素排出係数: 九州電力 平成26年度実排出係数0.584 kg-CO₂/kWhで遡って算出

※2: ガソリンの二酸化炭素排出係数: 2.32 kg-CO₂/ℓで算出

緊急事態対応訓練

<避難訓練・消火訓練>

日 時 2015年 10月 9日 15:15 ~ 15:45

避難訓練及び 消火訓練の 活動内容	全社員にて火災発生を想定した初期消火訓練及び避難訓練を行った。 ・火災発生を想定し消火・避難の模擬演習及び点呼確認 ・火災に関する心構え ・消火器の実用訓練・使用方法講習
-------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

参加者 全社員(役員・パート含む)13名

社長挨拶	火災を起こさない事をまず心掛けてください。 緊急時119番への連絡を的確に行えるように会社の住所や電話番号、経路など普段から説明できるようにしておいてください。
------	-------------------------------------------------------------------------------------



【評価・・・事務局】

今回は消火器の使用方法をより詳しく理解してもらうために消火器販売会社の方に来てもらい講習を行った。従業員3名に消火してもらったが、頭で分かっているつもりでも扱いが難しかったようだった。
正しい消火器の手順やコツを勉強できて、自分達だけで行う訓練とは違った緊張感のある訓練ができた。

地域清掃の実施

<会社周辺の清掃活動>

日 時 2015年 10月 9日 15:45 ~ 17:00

活動内容	全社員(役員・パート含む)にて、会社周辺地域清掃活動を行った。 ・会社周辺のゴミ拾い ・会社周辺の雑草の伐採 ・排水溝の枯葉の除去
------	----------------------------------------------------------------------------

<活動風景>



感想

工場からほど近い保育園の園児や中学生の通学路として使われる道路です。道路に飛び出た草は綺麗に刈られ、地域の人気持ちよく通ってもらえると思います。

ゴミ回収量 : 可燃ごみ45ℓビニール袋2袋 空き缶・不燃ごみ等1袋

7. 取組事例紹介



空気中に舞うミスト状のオイルを回収するため、空気清浄器を設置。オイルの節約にもつながります。



作業環境を改善するため、5S活動の一環として、白線を引いて通路を確保した。

測定工具は見やすく、取り扱いやすい高さに。一箇所にまとめることで探す手間を省きます。



細かい粉状の屑が出やすいグラインダー系は精密機械から離し、一箇所にまとめてスッキリ！



8. 2016年度の取組内容

1. 2016年度 環境活動取組計画(2016年3月～2016年2月)

環境目標項目	取組内容	コメント
電力の削減	空調温度の適正化	前年度に引き続き軽減を推進する。
	空気圧縮機の自動断続運転の徹底	
	生産工程の待機時間短縮	
	歩留向上、不良率削減	
	不必要時の照明の消灯の徹底 省エネ照明、機器等設備面の検討	
化石燃料の削減	取引先訪問の効率化	前年度に引き続き軽減を推進する。
	アイドリングストップの徹底	
	燃費の良い車の購入	
一般廃棄物の削減	シュレッダー廃紙のリサイクル化	前年度に引き続き軽減を推進する。
	梱包材の再利用	
	ミスコピー紙の再利用	
	レンタルウエスをテスト	
節水	手洗い手順の適正化	前年度に引き続き軽減を推進する。
	トイレ用水の節約	
	ポスターの掲示	
危険物保管庫の管理・点検	新規導入品のSDS確認	既存の製品のSDSの把握。使用量・保管量の周知徹底。
	取扱い化学物質の使用量及び保管量の管理・点検	
事務用品のグリーン調達	グリーン対象品の調達	社内購入品を順次グリーン対象品へ切り替える。購入率の把握。
良品率・納期順守率の向上	発生、流出原因究明	前年度に引き続き徹底する。
	工程改善、再発防止の徹底	
	検査徹底	
資源の再利用・省資源化	シュレッダー利用による購入量削減	前年度に引き続き推進する
	梱包材の再利用	
5S活動の推進	5Sパトロールの継続	5S自主評価テストを月に一度実施。
	5Sミーティングの継続	
三層分離層の定期清掃	三層分離層の点検清掃	年2回、引き続き実施する 4月、10月
地域清掃活動	工場近隣清掃	年2回の実施を予定する 4月、10月

9. 環境法規制等の取りまとめ

<環境関連法規等の取りまとめ表>

評価日：2015年4月7日

法規制等の名称	該当する要求事項(対応すべき事項)	順守評価
廃棄物処理法	・委託：一般・産業廃棄物の収集・運搬・処理業者の許可の確認	許可証 ○ 契約書 ○
	・産業廃棄物保管基準	産廃表示板と保管場所 ○
	・委託：マニフェスト交付 管理票B2・D票は90日、E票は180日以内に 送付されない場合は30日以内の知事への報告 ・管理票A、B2、D、E票の保管(5年間)	マニフェスト交付無し ○
	・産業廃棄物管理票 交付等状況報告書の提出	提出無し
騒音規制法	・特定施設の事前届出	特定施設無し
	・地域別騒音基準の順守	該当無し
振動規制法	・特定施設の事前届出	特定施設無し
	・地域別振動基準の順守	該当無し
浄化槽法	・設置変更の届出 ・指定検査機関による水質に関する定期検査(1回/4年) ・保守点検(1回/4ヶ月)	届出済み 水質検査表有り ○ 保守点検表有り
フロン排出抑制法	・フロン類の登録回収業者による適切な回収 ・フロン類回収時の委託確認書交付と引取証明書の保存(3年間) ・引取証明書が30日以内に送付されない場合の知事への報告	該当無し
	7.5kw以上50kw未満のエアコン(1回/3年業者点検)	3基該当 来年度点検実施
	7.5kw未満のエアコン(1回/3ヵ月自主定期簡易点検)	点検中 ○
家電リサイクル法	・家電排出時の適正回収・リサイクル	該当無し
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	・第1種指定化学物質取扱者は排出・移動量を報告 (年間取扱量1トン以上で従業員21名以上の場合)	対象外
	・性状及び取扱に関する情報(SDS)の受取・発行	切削油、潤滑油のSDS確認 ○
グリーン購入法	・できる限り環境物品等を選択するよう努める	購買帳票確認 ○
取引先 グリーン調達基準	・指定化学物質の管理(非使用、基準順守等) 取引先要請 ・環境マネジメントシステムの運用 取引先要請	取引先調査票有り ○

■評価の結果並びに、違反、訴訟等の有無

弊社の関連法規等への指摘や違反及び訴訟等はありません。

また、関係当局からの関連法規等への指摘、違反などは創業以来ありません。

10. 代表者の全体評価と見直し結果

1. 環境方針

2013年度制定の環境方針のもと、年間を通じて活動できた。尚、現時点で環境方針の改定はしない

2. 目標・環境活動計画の達成状況

電力使用量、一般廃棄物量排出量、水使用量の三項目において目標達成できなかった。
電力に関して達成できなかった大きな原因としては受注量増加と、昨年増設した設備によるものが大きいと考えられるが設備、生産増があった中、電力使用量が前年度に比べて僅かだが削減出来たことは評価できる。
水の使用量に関しては、新設備で水溶性切削油を使用するため前年度より水使用量が増加してしまうが、手洗い等の水使用削減を引き続き徹底し、これ以上の増加が無いようにしたい。
一般廃棄物に関しては、生産増により増加してしまったが、産廃に関しては、廃油・金属くずの有価物化により前年度掲げた『産廃ゼロ』を達成できた。
グリーン購入に関しては、主に事務用品を対象に意識的にグリーン製品を購入し、事務用品のグリーン製品化を前年度に引き続き進めることができた。
地域清掃に関しても前年度に引き続き年2回行い、地域の環境保全にも貢献する事ができたのではないかとと思う。
その他の項目に関しては、ほぼ目標が達成されているが引き続き社内全体で目標達成に必要な事項の周知徹底を行い、環境負荷の低減に向けて努力していきたい。

3. 総括

本年度は設備増・生産増に伴い、電気使用量、水使用量、一般廃棄物量の目標達成とはいかなかったが前年度より会社全体のエコ活動に関する意識が高まり、社員一人一人のエコに対する意識も高く活動できた一年であったと思う。
目標達成できなかった項目に関しては社内会議で問題点を話し合い、より細かい部分まで目を向け次年度は目標達成できるように綿密にコミュニケーションをとって、質の高い環境活動を展開できるよう努めていきたい。



2016年4月9日

代表取締役社長 軸屋 敏宏